

匠の街春日部かわら版

発行 備コーワ
編集室: 工房えびはら

「ぶらり散歩」-33- 日光再発見② 日光の起源

今日は、奈良時代から続く日光の起源についてぶらり調査散歩をしてきました。

勝道上人(しょうじょう)は、天平7年(735)高岡の郷現在の栃木県真岡市)生・弘仁8年(817)没。7歳のとき、夢の中に明星天子といふ神が現れて、「あなたはこれから仏の道を選び、大きくなったら日光山を開きなさい。」と告げられたとされています。

勝道上人28歳のとき(761年(天平玉字5年))、下野薬師寺(しもつけやへんじ) (栃木県安国寺)

※2023年の田舎ぶらり散歩の掲載、で試験を受け僧侶となり、法名を厳朝(げんちよう)と言った後、勝道と改めます。

奈良時代、当時は僧侶となるための試験は奈良の東大寺、福岡県の観世音寺、栃木県の薬師寺と日本に二か所しかありません。

760年3月、勝道上人32歳のとき大谷川(だいやがわ)の激流を神仏の加護を受けて渡り(現在の神橋(しんきょう))山内地区に草葺きの小屋を建て、毎朝、礼拝石(らいはいせき)に座り、「荒山(あらいさん) (男体山) (なんたいさん) の霊峰を



拝していたある日、いつものように霊峰を拝していると、背後から紫の雲が立ち昇り悠々と大空に舞い上がり東北方面に吸い込まれました。勝道上人はこの壮麗なる風景に心を打たれ、その地点に急ぎました。その地点(紫雲石(しうんせき))が、青龍(せいりゆう)・白虎(びやく)・朱雀(すざく)・玄武(げんぶ)の四神守護(しご)して「霊地」と感じ、この場所にお堂を建て「紫雲立(むらさきぐもたて)寺」と呼ぶようになったのが現在の「四本竜寺(よんぼりゆうじ)」です。



数年後弟子たちと中禅寺湖を舟で巡り中禅寺を建立、4年間滞在。810年(弘仁元年)には、四本竜寺が一山の総称(しんがく)「満願寺(まんがんじ)」となります。814年(弘仁元年)には、弘法大師空海(くわい)が「沙門勝道、山水を歴、玄珠を螢の碑(いし)にせしむ」と書き残す。そこには日光山が補陀洛山(ふたらかくざん)と、観音の浄土であると書かれています。



814年(弘仁元年)には、弘法大師空海(くわい)が「沙門勝道、山水を歴、玄珠を螢の碑(いし)にせしむ」と書き残す。そこには日光山が補陀洛山(ふたらかくざん)と、観音の浄土であると書かれています。

816年(弘仁7年)4月、82歳の高齢で再び「荒山頂に登られたのち三社権現(さんしゃごんげん)の社を建立し、翌817年(弘仁8年)3月1日、山岳宗教に捧げた一生を閉じます。

日光の地名の由来についてはいろいろな説があります。観音菩薩の浄土「かのんぼんざん」を補陀洛山(ふたらかくざん)といふ、その補陀洛山から「つたら山(つたら)の名がついた」といふ説、日光の山は熊笹(くまざさ)が多いので、アイヌ語の「つたら」熊笹が「つたら」になり「つたら山」になった。あるいは坂の入口付近に「屏風(びょうぶ)洞(ほら)」があり、そこに大きな洞穴があり、「風(かぜ)とが雷神(らいじん)窟(くわ)といふ」といふ説、この穴に風の神と雷神(らいじん)が住んでいて「カミナリをおこし豪雨を降りせ、春秋に暴風が吹いて土地を荒したので、荒山(あらいさん)といふ名ができた」といふ説、日光になったのは、弘法大師空海(くわい)が「荒山(あらいさん)に登られたとき、荒の文字が感心しなかつたので、つたらを「つ」と音読し、良い字をあてて日光にしたと諸説伝えられています。

2006年から、日光市御幸町(日光)「都市化研究所」で「講習会」を100回ほど開催してきた筆者が講習生の皆様から毎回「来見(きみ)だより有難(ありがた)い」と歓迎されるのは、その名残(なごり)でしょう。日光は現代でも勝道上人の面影を感じる場所でした。

(元)日光市都市化研究所長 海老原

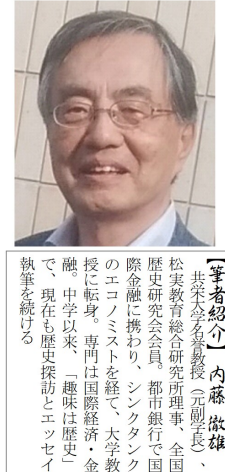
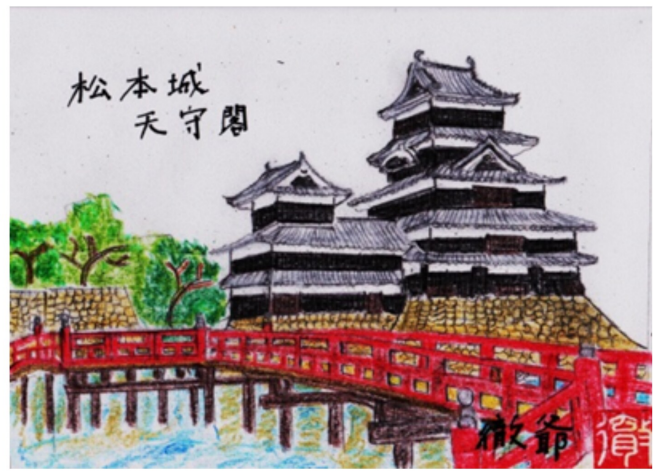
「歴史を歩く」第一四六話 信州の名城 国宝松本城

長野県(信濃)は全国の都道府県で四番目に広い面積を誇っています。しかし、江戸時代(幕末期)には松代藩(真田氏10万石)、次いで松本藩(戸田松平氏6万石)、上田藩(藤井松平氏5万3千石)が目立つ程度で多くの小藩が点在していました。従って名城と呼ばれるような見事な城は少ないものの、その一つが松本城です。

日本に現存している天守閣は十二ありますが、そのうち五天守が国宝に、残り七天守は重要文化財に指定されています(注)。松本城の天守閣は東日本唯一の国宝で、大天守を中心に左右に乾小天守と渡櫓、辰巳付櫓と月見櫓を配した連結式構造は、今なお端正で調和のとれた美しい姿をとどめています。

城は松本平野の中心に位置する典型的な平城で、天守閣からの眺望は素晴らしい。西に北アルプスの高峰、東に美ヶ原高原の山並みが望めます。江戸時代の図面を見ると、内堀、外堀、惣堀の三重の堀に囲まれており、内堀に囲まれた本丸の南西角には天守閣と藩主の居住する御殿が、外堀に囲まれた四方の一の丸には政庁があり、そして惣堀内の三の丸は上中級武士の屋敷地で、城地は十二万坪と広大な敷地を占めています。

松本城の築城は永正年間(一五〇四〜一五二一)と伝えられ、現存するのは文禄二(一五九三)〜三(一五九四)といわれています。江戸時代に入ると短期間に城主が度々入れ代わりしましたが、十七世紀半ばからは水野氏六代(七万石)を経て戸田松平氏九代(六万石)で明治維新を迎えています。明治の文明開化の時代になると城は無用の長物になりましたが、



【筆者紹介】内藤 敬雄 松本教育総合研究所理事、全国歴史研究会会員、都市銀行で国際金融に携わり、シンクタンクのエコノミストを経て、大学教授に転身。専門は国際経済・金融。中学以来「歴史は歴史」で、現在も歴史探訪とエッセイ執筆を続ける。

戦後、国宝松本城天守は解体修理され、その後も本丸入口に当たる黒門や内堀の一部が復元され、平成に入ると三の丸と二の丸を繋ぐ太鼓門が復元され、城は徐々に昔日の面影を現わしました。現在、南と西の外堀の復元事業が計画されており、これが実現すれば江戸期の環状の外堀が再現されます。

(注)国宝：松本城、犬山城、彦根城、姫路城、松江城。重文：弘前城、丸岡城、備前松山城、丸亀城、松山城、宇和島城、高知城。

11月号 Vol.311
2024年11月20日(水)

発行所：(株)コーワ
発行者：広地 進
制作・編集：工房えびはら
発行日：毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌

ASA 春日部

〒344-0055
春日部市八木崎町1-19
☎0120-86-1637 FAX:048-761-0044
http://www.asa-kowa.com



コーワ春日部ミルクセンター

TEL:048-753-1800 FAX:048-761-3036



漢字ぐるぐるパズルは、パズルにリストの漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

正解者の方に抽選でプレゼント致します！
(希望商品を2つまで書いてください)

- ①朝日新聞 天声人語書き写しノート 5名様
- ②森永絹ごし(こ)豆腐(常温保存可) 10名様
- ③森永充実野菜(常温保存可)3本 5名様
- ④森永まろやか黒酢(黒糖&りんご味)3本 5名様

リスト
院音家画
会劇月見
行才作山
紫誌実社
小人大凶
性線大能
長動地発
備部法本
明面有路
録話

霜	刊	倒		
物	病	電	題	族
	兼	忘		旅
活	色	物	楽	力
		空	春	開
学		無	名	楽
	映	形	起	
	工	画	線	平

難易度 ★★☆☆ (中級)

霜	月	刊	誌	面	倒	見	本
物	病	院	長	電	話	題	家
動	兼	備	忘	録	音	性	族
活	色	物	大	小	楽	能	旅
部	才	実	空	春	会	力	行
学	画	無	名	有	社	開	楽
法	映	劇	形	人	起	発	地
作	工	画	凶	線	路	線	平

■山紫水明

先月号の答えは「山紫水明」でした。クイズ応募者35名様で、34名の方が正解でした。

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキかメールで「答え」、「住所・氏名」をご記入の上、コメントを添えてご応募ください。
〒344-0055 春日部市八木崎町1-19 (株)コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係 メール otayori@asa-kowa.com まで
ハガキは11月28日消印有効、メールは11月末日到着有効(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます)



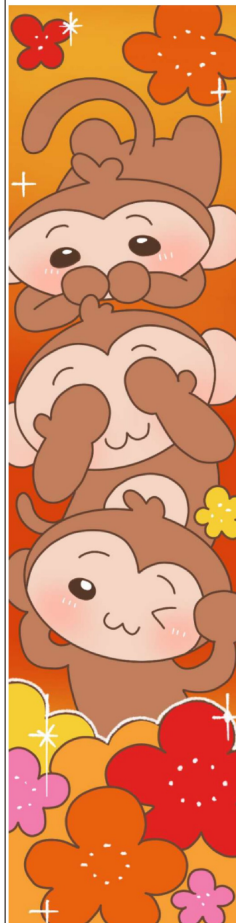
小泉編集委員が逝く

朝日新聞立川支局員 山浦 正敬

映画「男はつらいよ」シリーズにとって今年にはメモリアルイヤーでした。1969年夏に始まってから55年です。その年の秋には続編が公開されました。その寅さんを愛した朝日新聞のベテラン記者が10月に他界しました。映画の記念イベントを取材してから1カ月半後でした。記者は同期の小泉信一編集委員です。新聞販売店発行の読者向けコラムである小欄を2018年4月から2年間担当し、私が4年半

前に引き継ぎました。編集委員としての担当は「大衆文化・芸能」でした。社内では前例のない専門分野名で、本人も当初は「風俗担当」と名乗るつもりでした。でも、誤解されるかもと表現を変えたと笑っていました。寅さんの舞台となった町の義理人情の話題だけではありません。選挙の取材では居酒屋で酔客の声を拾いました。隠微な世界も軽妙に切り取りました。8月下旬の夜です。珍し

く本人が電話をかけてきました。末期がんで余命宣告されたこと、でも最近も取材に出たこと……。病に負けてたまるかと記事を書き続けるんだ。通話時間は11分31秒でした。自称「絶滅危惧種記者」の最後の記事は他界した日の夕刊です。息を引き取った後に印刷された紙面でした。連載「小泉信一の昭和怪事件」で、半世紀前にあった北海道・屈斜路湖のクッシー騒動をとりあげました。英国ネス湖と重ねた結びの一節は、本人が抱き続けた思いに読めます。「未知なるものへの夢とロマンは、世界共通なものだろう」



【イラスト:あやか】

Cooking

パリパリゴボウの和風サラダ

1人分179kcal 塩分1.4g >10分

●材料(2人分)

- ゴボウ……………1/2本(80g)
- リーフレタス……………60g
- カイワレダイコン…1/4パック
- 揚げ油……………適量
- シラス干し……………20g
- 焼きノリ……………1/2枚
- ④ ゴマ油……………大さじ1と1/2
- しょうゆ……………小さじ2
- 酢……………小さじ1
- コショウ……………少々

【作り方】

- ①ゴボウはピーラーで長さ10cmほどの薄切りポン状にする。さっと水にさらし、水けをしっかりとふく。
- ②リーフレタスは一口大にちぎる。カイワレダイコンは根元を切る。
- ③170℃の油で①を時々裏返ししながら2分30秒ほどパリッとさせるまで揚げる。
- ④ボウルに④を入れて混ぜ、②とシラス干し、ノリをちぎりながら加えてさっくり混ぜる。器に盛り、③をのせる。

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓

当店ご購入者様へ

便利なWEBサービスを開始しました! WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。

【PC/スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>

☆携帯の方はこちら

【空メール: y@asa-kowa.com】

※件名、本文は必要ありません。

※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。



お便りコーナー

◆武里団地の住民ですが最近「み置き場」にねずみが出てきて実物を見るのは何十年ぶりです。何処かすみかがあるのかわかりませんが扉をあけると慌てて逃げ出します。衛生上心配です。
【大枝 S.Tさん】

◆衆議員選挙の投票日がある。投票しない人の気持ち分らない。自分の人生すべてに影響するのだから。日本そして世界が今、大変な事になっている。無関心でいたらどうなるか。議員になる人は、これだけ社会の問題について考えているのだろうか。疑問に思う。世界に通用する政治家が出てきて欲しい。
【大枝 Y.Nさん】

◆毎回漢字ぐるぐるパズルを楽しんでいます。今夏は猛暑日が多く熱中症が心配でした。今年からOB達の鹿沼研鑽ゴルフ会参加をやめ、毎日6000歩目標に散歩して、9月は12日間、10月は現在12日間です。
【大沼 N.Hさん】

◆ある日、ピンポンで外へ出ると、鉢巻きを頭に巻いた、いかに大工が職人という風情の若者が、「お宅の屋根に、なにか飛び出しているものがある。取った方がいりますよ。」と立ちはだかりました。さぐり調べてみると、飛び出しているのは雪止めでした。あとで知ったのですが、さぐり不安がらして、詐欺まがいの仕事をやるようです。最近テレビでも取り上げられています。みなさんも、気を付けてください。
【備後東 M.Yさん】

◆5歳の孫娘は、毎日幼稚園バスで登園している。主人は入園以来、家の近くの信号の所で、手をひいて見送りをしている。先日、信号待ちで一人だけけんけんをして、出す順番をまちがえて3回とも自分が全部勝つてしまい、孫は悲しい顔をして行ったと、申し訳なさそうに話してくれた。その場面の二人を想像して、何か切ないようなおかしな気持ちになった。
【谷原 K.Iさん】

◆闇バイト・投資詐欺・ロマンス詐欺などがスマホを介し頻発しています。テレビのニュースや新聞などで、詐欺について毎日報道されていますが、それでも詐欺にかかる人がいます。最近スマホがあるため、テレビのニュースを見たり、新聞を購読する人が減っているという報道もあり、そういう人は詐欺についての情報入手していません。
【豊町 K.Kさん】

◆何もかも値上げで、10月から封書、ハガキも値上げ。切手はぐるぐるパズルで使用するだけなので、ハガキは今までの不足分もたして、計5枚はつてます。近々また不足分プラスになりませんように。
【大沼 M.Oさん】

◆10月から郵便料金が変わりましたので、我家の切手を見直しました。以前は記念切手が出るので集めていたのですが、沢山あります。終活を考えますと自分で整理した方が良いか思案中です。皆様はいかがしていますか?
【一の割 Y.Sさん】

◆10月に入っても暑い日が続きました。こんどは急に寒い日がやってくるのでしよう。ちよつとよい季節が少なくなりましたね。秋と春が好きな季節だったのですが、そうはいっても、こつこつと気候に慣れていかないとダメですね。
【増田新田 H.Sさん】